

【共通の設問】 次の傍線部の副詞は、どの呼応か答えよ。（答え・解説は解答編）

【第1部】 基礎編（Q1～Q20）

Q1.

さらに知らず。

Q2.

え行かず。

Q3.

ゆめ忘るな。

Q4.

よもあらじ。

Q5.

もし雨降らば、留まらむ。

Q6.

いかでか忘れむ。

Q7.

いさ、心も知らず。

Q8.

まさに行くべし。

Q9.

つゆ違はず。

Q10.

え答へず。

Q11.

な騒ぎそ。

Q12.

よも逃さじ。

Q13.

たとひ身は死ぬとも、名は朽ちじ。

Q14.

などかは参らざらむ。

Q15.

まさに報ゆべし。

Q16.

をさをさ見えず。

Q17.

え言はで止みぬ。

Q18.

ゆめゆめ人に語るな。

Q19.

もし来ずは、いかにせむ。

Q20.

あへて驚かず。

【第2部】標準編 (Q21~Q50)

Q21.

かつて聞かず。

Q22.

え堪ふまじ。

Q23.

いかでこの目を見せじ。

Q24.

よも違はじ。

Q25.

すこしも惜しまず。

Q26.

な急ぎそ。

Q27.

まさに従ふべし。

Q28.

いさ、行く末も知らず。

Q29.

え避らず。

Q30.

よしや世は変はるとも、心は変はらじ。

Q31.

つゆ情けなし。

Q32.

なんぞ疑はむ。

Q33.

ゆめ油断すな。

Q34.

よも忘れじ。

Q35.

さらに音もせず。

Q36.

え渡らず。

Q37.

もし叶はば、参らむ。

Q38.

などかは知らざらむ。

Q39.

いさ、いかがあらむ。

Q40.

まさに老ゆべし。

Q41.

あへて辞せず。

Q42.

なな泣きそ。

Q43.

よも負けじ。

Q44.

えこらへず。

Q45.

いかでか参らざらむ。

Q46.

たとひ雨降るとも、出で立たむ。

Q47.

をさをさ劣らず。

Q48.

ゆめな怠りそ。

Q49.

まさに死ぬべし。

Q50.

いさ、われは知らず。

【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

Q51.

いかでこの花を見ばや。

Q52.

さらに変はることなし。

Q53.

え思ひ捨てずなりぬ。

Q54.

よもさはあらし。

Q55.

なもの言ひそ。

Q56.

もし生きてあらば、また逢はむ。

Q57.

なんぞためらはむ。

Q58.

つゆたがはず。

Q59.

まさに酬ゆべし。

Q60.

え忍ばで泣きぬ。

Q61.

いさ、人の心はいかがと知らず。

Q62.

よも漏らさじ。

Q63.

たとひいかなる罪ありとも、許さむ。

Q64.

いかでか知り給はざらむ。

Q65.

ゆめ疑ふな。

Q66.

さらに驚くべきにあらず。

Q67.

えしもこらへず。

Q68.

まさに至るべし。

Q69.

など人の言ふことを用ゐざらむ。

Q70.

よもたばかられじ。

Q71.

あへて異議なし。

Q72.

な侮りそ。

Q73.

もし便りあらば、知らせよ。

Q74.

いさ、まことは知らず。

Q75.

えまからず。

Q76.

いかで月を見ざらむ。

Q77.

をさをさつつしまず。

Q78.

まさに避くべし。

Q79.

よもたがへじ。

Q80.

ゆめゆめ油断すな。

【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

Q81.

かばかりのことに、さらに驚くべきにもあらず。

Q82.

心には思へども、えうち出でずなりぬ。

Q83.

この秘事、ゆめ人に漏らすな。

Q84.

あれほど誓ひしかば、よも裏切らじ。

Q85.

もしこの世にて逢はずは、後の世にても尋ねむ。

Q86.

主君の仰せを、家臣たる者、いかでか背かむ。

Q87.

その人の心のうち、いざ、われは知らず。

Q88.

罪を犯したる者は、まさに罰せらるべし。

Q89.

道のほど遠ければ、え今日は帰らじ。

Q90.

年ごろ、つゆばかりも忘るる時なし。

Q91.

いかなる大事ありとも、な騒ぎそ。

Q92.

かく賢き人の、よも過たじ。

Q93.

われ、いかでこの本意を遂げばや。

Q94.

たとひ千万の敵ありとも、退かじ。

Q95.

かほどの恥を見ては、え世にもあらじ。

Q96.

などかはあやしと思はざらむ。

Q97.

さらに人の聞き入るることなし。

Q98.

ゆめこの道をたがふな。

Q99.

行く先のこと、いさ、誰も知らず。

Q100.

天命なれば、まさに受くべし。